皆様には、お忙しい中、初登庁に際してこのような機会を頂戴し、誠にありがとうございます。先の市長選挙におきまして、市民の皆様のご信任をいただき、本日、第８代、真岡市長に就任いたしました中村和彦でございます。市長就任にあたりごあいさつを申し上げます。

私は、２００３年の初当選以来、市議会議員として２２年間、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、地域の課題解決と発展に努めてまいりました。昨年、市制施行７０周年を迎えた本市の躍進は、皆様ご承知のとおりでありますが、私のこれまでの経験を振り返り、改めて実感しているのは、この真岡市には、多様な地域資源があり、そして何より、地域で活躍されている多くの市民の存在があるということであります。こうした地域資源と市民の力こそが、本市の発展を支えてきた原動力であり、今日の真岡市があるのも、先輩諸兄をはじめ、議員各位、そして市民の皆様のたゆまぬ努力と研鑽の積み重ねによるものであると、私は確信しております。

近年、我が国は人口減少や少子高齢化による働き手不足、異常気象や災害の増加、急速に進むデジタル社会への適応など、多岐にわたる課題に直面しており、これは本市においても例外ではありません。こうした状況に対応し、本市が持続的に発展を続けていくため、「JUMPUP もおか～だれもが“わくわく”するまち～」を本市の将来都市像として掲げ、若い世代を含むすべての人が「真岡に住みたい」「働きたい」「子育てしたい」と希望を抱き、未来を描けるまちの実現を目指し、様々な施策を展開してきたところであります。

このような中、私は今後の市政運営において、山積する課題解決の鍵は、「人そだて」にあると考えております。未来を担う人材を育むため、子どもを産みやすく、育てやすい環境をさらに整え、安心して子育てができるまちであること。この地域の産業を支える人材が育ち、若い世代が地域に根付き、誇りを持って暮らせるまちであること。世代や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが活躍できる機会を創出し、より多くの人が輝けるまちであること。このようなまちとなるための環境を整えることが、本市が持続的に発展していくために大切なことと考えております。

そのために私は、「真岡市総合計画 2025-2029」を着実に推進し、『選ばれる都市（まち）もおか』の実現に向け、選挙公約として、『一人一役

！全員主役！』～みんなでつくるもおかの未来～を理念に掲げ、市民の皆様との絆を大切にし、対話・協働・連携を深めながら、真岡市の新しい未来をつくるための様々な施策を進めてまいります。

我が国を代表する哲学者であった森信三氏は、生前に「日本は２０２５年に立ち上がるであろう。しかし、その再起再生の原動力になるのは、二宮尊徳の教えに基づくほかない」と語っていたと言われています。２０２５年、報徳仕法発祥の地であるこの真岡市から、国全体に向けて元気なまちづくりを発信していけたらと考えております。

そして、この素晴らしい真岡市を、次世代を担う若者や子どもたちに胸を張って譲り渡していくため、私が先頭に立って、多くの施策をスピード感を持って推進し、議会をはじめ、より多くの市民の皆様のご意見を伺いながら、市民重視のまちづくりを進めていく所存であります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。